

電力自由化について

電気事業連合会 榎本晃章

電力自由化の目的:

競争導入により、料金低減やサービス向上など、お客さま利益の増大を図ること

➤ 効率化と4つの公益的課題*の両立

*...ユニバーサルサービスの達成、供給信頼度の維持、エネルギーセキュリティの確保、環境保全

電力自由化を考えるに当たって考慮すべき事項

➤ 電気の特性

生活必需性。非貯蔵性(瞬時瞬時の需給のマッチング)

➤ わが国固有の事情

狭隘な国土。小資源国。季節毎・昼夜間の需要変動

➤ わが国電気事業の歴史

日本型電力自由化モデル

➤ 発送配一貫体制の堅持

設備形成、系統運用面からの必要性

最終保障、ユニバーサルサービスの担い手

エネルギーセキュリティ確保など公益的課題達成の中核をなす原子力の推進

➤ 送配電部門の公平性・透明性の向上

中立機関(電力系統利用協議会)の設立

送配電部門への行為規制*の導入

*...情報の目的外利用の禁止、差別的取り扱いの禁止、会計分離

➤ 海外の自由化事例からの教訓

加州電力危機(2000年)、北米大停電(2003年)等

原子力と自由化の両立

➤ 原子力の必要性

安定供給確保、環境適合(地球温暖化対策)の両立に欠かすことのできないエネルギー

➤ バックエンド事業に対する経済的措置

バックエンド事業の超長期性、不確定性、発電と費用発生タイムラグ等

自由化の進展

経済的措置

・バックエンド事業の円滑な推進

・世代間・需要家間の負担の公平性

・受益者負担の原則、競争中立性の確保

➤ 電気事業分科会、および、原子力委員会における検討・結論

以 上